

研究主題等 理科の見方・考え方を働かせて資質・能力を育み、豊かな未来を切り拓く理科教育 ～生徒の主体的な学びや科学的な探究活動を通して、持続可能な未来を創造する理科教育～

I 団体の概要

本研究会は、東京都内の公立中学校の全理科教員が会員となり、理科教育に関して研究している会です。3部4委員会を設け、定期的に研究活動を行い、理科教育の振興と会員相互の親睦を図っています。

II 団体の取組み

- 5月 定期総会・役員会
- 6月 役員会
- 8月 現地研修会（観察・実験委員会）
全中理山梨大会
役員会・夏季研修会
- 11月 役員会・会員研究発表会
- 12月 役員会・冬季研修会・開発教材コンテスト
- 1月 実技研修会・生徒理科研究発表会
- 2月 都中理報告会・役員会・代表理事会
- 3月 都中理研究会誌発行



III 研究の方法

教育課程委員会、学習・評価委員会、観察・実験委員会、環境教育委員会の4つの委員会が、それぞれテーマに沿った研究を行い、会員研究発表会等で発表しています。また、研究部は会員研究発表会、生徒理科研究発表会を、研修部は年2回の若手・中堅教員向けの研修会を、広報部は、研究会誌の発行と開発教材コンテストを実施しています。観察・実験委員会は実技研修会も実施しています。

IV 研究の内容

【教育課程委員会】

「生徒が科学的に探究する資質・能力の育成～1人1台端末の活用の効果～」をテーマに、1人1台端末を活用した個別最適な学び、協働的な学習を実践し、効果を検証する研究を行いました。今後、この形式に適した単元等を検討します。

【学習・評価委員会】

「個別最適な学びの実現に向けた指導の工夫～ワンルーム習熟度別授業～」を研究しました。講義形式や実験において、1教室で生徒の理解度を基に、学習活動や学習課題を選択する取り組みを行いました。実験の安全の担保など諸課題はあるが、生徒の意欲が高まったとの肯定的意見が多くありました。その他、会員個人の研究を会員研究発表会で発表しています。

※会員研究発表会の結果を踏まえ、令和7年度全中理北海道大会での研究発表者の推薦対象者を決定します。

【開発教材コンテスト】

先生方がオリジナルで開発した教材の発表を行っています。都中理研究会誌及び都中理HPに、教材の写真と紹介文を掲載します。

【博物館連携プロジェクト】

国立科学博物館を校外学習等で利用する際、楽しく有意義に学習できるように、国立科学博物館と都中理が協働してワークシートを作成しています。新たなメンバーでの活動や、科博以外の博物館ワークシートの作成など新しい取り組みも行っています。

V 山梨大会への参加

第71回全国中学校理科教育研究会 山梨大会

開催期間 令和6年8月8日(木)～8月10日(土)

会場 シャトレゼホテル談露館 山梨防災新館

YCC 県民文化ホール 山梨県立図書館

研究主題 理科の見方・考え方を働かせて資質・能力を育み、豊かな未来を切り拓く理科教育

研究主題 自然の事象に関わり、観察や実験、科学的な探究活動を通して、持続可能な未来を創造する力を育む理科教育

本研究会の発表

第3分科会【観察・実験】

現象をとらえ、2つの視点から金星の見え方のしくみや規則性を見いだす資質・能力の育成(観察・実験委員会)

第4分科会【環境教育】

秋川流域の地域資源や人材を活用した単元指導計画の開発
～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指して～
(環境教育委員会)

VI 成果と課題

昨年度と同様、研修会や研究会をリアルで開催することができました。対面でのやり取りからネットワークの再構築、情報交換などに一定の手応えを実感できました。全中理山梨大会の分科会では、全国の熱心な若手教員の姿が散見されました。都中理としても若手の研究仲間の発掘が急務であると考えています。今年度、計画通りにいかなかった事業もあります。委員会組織の在り方も含め、次年度以降の大きな課題であると捉えています。

<令和6年度連絡先>

団体名		東京都中学校理科教育研究会	
代表者	所属	江戸川区立松江第四中学校	
	職 氏名	校長 鶴澤 伸一	
	連絡先	03-3652-7591	
事務局	所属	豊島区立千川中学校	
	職 氏名	校長 牧野 崇	
	連絡先	03-5995-6150	
団体ホームページ		URL	二次元コード
		https://www.tochuri.net/	